

金融機能強化法に基づき資本参加を行った金融機関における
「経営強化計画の履行状況（令和３年９月期）」の概要

金融機能強化法の本則に基づき資本参加を行った金融機関における 「経営強化計画の履行状況（令和3年9月期）」の概要

金融機関名	資本参加	
	時 期	金 額
福邦銀行	平成21年 3月31日	60億円
南日本銀行		150億円
みちのく銀行	平成21年 9月30日	200億円
三十三銀行（第三銀行）		300億円
山梨県民信用組合		450億円
東和銀行	平成21年12月28日	350億円
高知銀行		150億円
北都銀行	平成22年 3月31日	100億円
宮崎太陽銀行		130億円
ぐんまみらい信用組合	平成24年12月28日	250億円
豊和銀行	平成26年 3月31日	160億円
東京厚生信用組合		50億円
横浜幸銀信用組合		190億円
釧路信用組合	平成26年12月12日	80億円
滋賀県信用組合		90億円
全国信用協同組合連合会	平成27年12月22日	106億円
全国信用協同組合連合会	平成28年12月27日	62.4億円
全国信用協同組合連合会	平成29年12月22日	100億円
全国信用協同組合連合会	令和 2年 3月31日	92億円

（注1）山梨県民信用組合、ぐんまみらい信用組合、東京厚生信用組合、横浜幸銀信用組合、釧路信用組合及び滋賀県信用組合は全国信用協同組合連合会からの信託受益権の買取りにより、北都銀行はフィデアホールディングス（持株会社）が発行する優先株式の引受けにより、それぞれ資本参加。

（注2）三十三銀行は、令和3年5月1日、三重銀行及び第三銀行の合併により設立。

金融機能強化法(平成20年改正法)に基づく経営強化計画 令和3年9月期の履行状況の概要

1. 経営改善の目標

1) コア業務純益

(単位: 億円)

	計画始期の水準	令和3年9月期		始期比	計画比	コメント (実績と計画の比較)
		計画	実績			
福 邦	2	1	3	+ 5	+ 2	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
南日本	20	11	14	+ 8	+ 3	資金利益が貸出金利息が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
みちのく	71	25	26	▲ 19	+ 1	資金利益が貸出金利息の減少等により計画を下回ったものの、経費が物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
三十三(第三)(※)	99	16	28	▲ 43	+ 11	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや役員取引等利益が計画を上回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
東 和	53	20	35	+ 17	+ 14	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったこと等により計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
高 知	26	11	14	+ 3	+ 3	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
北 都	31	18	25	+ 18	+ 6	役員取引等利益が計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
宮崎太陽	9	4	7	+ 5	+ 2	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや経費が人件費・物件費の削減により計画を下回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。
豊 和	11	5	6	+ 2	+ 1	資金利益が有価証券利息配当金が計画を上回ったことにより計画を上回ったことや役員取引等利益が計画を上回ったこと等から、コア業務純益は計画を上回った。

(注)「始期比」は、令和3年9月期(半期)の実績を2倍にし、「計画始期の水準」(通期)と比較

(※)三十三銀行は、令和3年5月1日、三重銀行及び第三銀行の合併により設立しており、「計画始期の水準」は両行合算の数値

2) 業務粗利益経費率 (OHR)

(単位:%)

	計画始期の水準	令和3年9月期		始期比	計画比	コメント (実績と計画の比較)
		計画	実績			
福 邦	71.42	70.62	65.73	▲ 5.69	▲ 4.89	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったことにより業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
南日本	64.17	65.70	60.82	▲ 3.35	▲ 4.88	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
みちのく	70.99	72.26	67.76	▲ 3.23	▲ 4.50	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、役員取引等利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
三十三(第三)(※)	59.50	69.63	67.53	+ 8.03	▲ 2.10	経費（機械化関連費用を除く）は計画を上回ったものの、役員取引等利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
東 和	68.84	73.86	62.03	▲ 6.81	▲ 11.83	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
高 知	74.79	70.67	67.75	▲ 7.04	▲ 2.92	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったことにより業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
北 都	78.59	76.57	69.92	▲ 8.67	▲ 6.65	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、役員取引等利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
宮崎太陽	69.44	69.11	65.44	▲ 4.00	▲ 3.67	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったことにより業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。
豊 和	68.40	68.39	65.55	▲ 2.85	▲ 2.84	経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったほか、資金利益が計画を上回ったこと等により業務粗利益が計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。

(※)三十三銀行は、令和3年5月1日、三重銀行及び第三銀行の合併により設立しており、「計画始期の水準」は両行合算の数値

2. 中小企業金融の円滑化の目標

1) 中小規模事業者等向け貸出残高・比率

(単位:億円、%)

	計画始期の水準	令和3年9月期		始期比	計画比	コメント (実績と計画の比較)	
		計画	実績				
福 邦	残高	1,632	1,645	1,707	+ 75	+ 62	本業支援に注力した結果、貸出残高は計画を上回った。なお、資金繰り支援のための資金（現預金）を確保したこと等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	36.76	37.23	34.99	▲ 1.77	▲ 2.24	
南日本	残高	3,491	3,569	3,799	+ 308	+ 230	事業者への全先訪問の実施を通じた資金繰り・本業支援に注力したこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、資金繰り支援のための資金（現預金）を確保したこと等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	44.39	44.23	43.29	▲ 1.10	▲ 0.94	
みちのく	残高	5,315	5,362	5,215	▲ 100	▲ 147	地元のミドルリスク層へのアプローチ強化等に取り組んだ一方で、県外融資を抑制したことなどから貸出残高は計画を下回った。また、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等による預金の増加等から総資産が増加したため、比率も計画を下回った。
	比率	22.54	22.54	21.64	▲ 0.90	▲ 0.90	
三十三(第三) (※)	残高	13,135	13,160	13,045	▲ 90	▲ 115	合併後の営業体制の変化等の影響により営業活動が計画通りに進捗しなかったこと等から、貸出残高は計画を下回った。また、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等による預金の増加等から総資産が増加したため、比率も計画を下回った。
	比率	30.61	31.37	30.17	▲ 0.44	▲ 1.20	
山梨県民 (信用組合)	残高	1,176	1,176	1,164	▲ 12	▲ 12	役員によるトップセールスや新型コロナウイルス感染症の影響が比較的少ない特定業種の融資推進に取り組んだものの、計画を大きく上回るペースで不良債権処理が進捗したこと等から、貸出残高・比率ともに計画を下回った。
	比率	27.49	27.88	27.19	▲ 0.30	▲ 0.69	
東 和	残高	8,018	8,048	8,058	+ 40	+ 10	「TOWA お客様応援活動」を通じた資金繰り支援や本業支援に積極的に取り組んだこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、資金繰り支援のための資金（現預金）を確保したこと等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	31.52	31.52	31.02	▲ 0.50	▲ 0.50	
高 知	残高	4,565	4,567	4,482	▲ 83	▲ 85	新型コロナウイルス感染症の影響による環境・エネルギー分野での工事の遅延や実質無利子・無担保融資を活用した資金需要が一段落したこと等から、貸出残高・比率ともに計画を下回った。
	比率	37.00	37.87	36.95	▲ 0.05	▲ 0.92	
北 都	残高	3,531	3,532	3,556	+ 24	+ 23	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている取引先への資金繰り支援に注力したこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、資金繰り支援のための資金（現預金）を確保したこと等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	22.69	22.70	22.31	▲ 0.38	▲ 0.39	
宮崎太陽	残高	3,051	3,071	3,102	+ 51	+ 31	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている取引先への資金繰り支援に注力したこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、資金繰り支援のための資金（現預金）を確保したこと等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	36.84	36.90	35.94	▲ 0.90	▲ 0.96	
ぐんまみらい (信用組合)	残高	1,160	1,160	1,178	+ 18	+ 18	営業運転資金（伴走支援型特別保証制度等）の需要が高まったこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、預け金残高等の増加によって総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	33.88	34.73	33.63	▲ 0.25	▲ 1.10	
豊 和	残高	2,530	2,664	2,829	+ 299	+ 165	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている取引先への資金繰り支援に注力したこと等から、貸出残高は計画を上回った。なお、新型コロナウイルス感染症対策の給付金等による預金の増加等から総資産が増加したため、比率は計画を下回った。
	比率	43.73	45.53	44.32	+ 0.59	▲ 1.21	
東京厚生 (信用組合)	残高	283	298	293	+ 10	▲ 5	役員によるトップセールスや提案型営業に取り組んだものの、不動産業向け貸出の大口返済等により、貸出残高・比率ともに計画を下回った。
	比率	46.03	46.19	46.10	+ 0.07	▲ 0.09	
横浜幸銀 (信用組合)	残高	3,262	3,370	4,185	+ 922	+ 815	若手職員のノウハウ向上等の営業推進態勢の強化を行い、既存顧客向けの資金繰り支援を推進したことなどから、貸出残高・比率ともに計画を上回った。
	比率	65.22	65.56	65.79	+ 0.57	+ 0.23	
釧 路 (信用組合)	残高	297	302	345	+ 48	+ 42	訪問活動の中で得られた情報を蓄積した「渉外活動記録管理表」を活用し、本部・営業店が一体となってソリューション営業に取り組んだことから、貸出残高・比率ともに計画を上回った。
	比率	32.37	32.90	33.77	+ 1.40	+ 0.87	
滋賀県 (信用組合)	残高	532	554	620	+ 87	+ 66	他金融機関からの人材派遣などによる営業推進体制の一層の強化等により、役職員一丸となって貸出金増強に取り組んだ結果、貸出残高・比率ともに計画を上回った。
	比率	34.38	35.14	35.80	+ 1.42	+ 0.66	

(※)三十三銀行は、令和3年5月1日、三重銀行及び第三銀行の合併により設立しており、「計画始期の水準」は両行合算の数値

2) 経営改善支援先割合

(単位:%)

	計画始期の水準	令和3年9月期		始期比	計画比	コメント (実績と計画の比較)
		計画	実績			
福 邦	13.39	13.65	14.70	+ 1.31	+ 1.05	補助金申請サポートや販路開拓「ふくほうトップラインサポート」等のコンサルティングサービスに積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
南日本	2.59	2.64	3.90	+ 1.31	+ 1.26	創業・新事業支援や経営改善支援先の本業支援を通じた事業再生に積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
みちのく	11.95	12.25	12.28	+ 0.33	+ 0.03	伴走型の事業承継支援「みちのく銀行事業承継サポートサービス」やビジネスマッチング等の経営相談に積極的に取り組んだことから、計画を上回った。
三十三(第三)(※)	8.04	8.06	8.43	+ 0.39	+ 0.37	M&A情報の一元化やコンサルティング営業部の人員を増員したこと等により事業承継支援の体制強化を図り、積極的な支援に取り組んだことから、計画を上回った。
山梨県民 (信用組合)	8.44	8.53	9.22	+ 0.78	+ 0.69	融資部融資課サポート担当及び総合相談センターが中心となり、外部機関・外部専門家と連携したきめ細かな経営相談、早期事業再生等に取り組んだこと等から、計画を上回った。
東 和	48.97	49.04	56.28	+ 7.31	+ 7.24	「TOWAお客様応援活動」を通じた経営改善計画策定支援や財務改善アドバイス等の経営改善支援に積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
高 知	5.88	5.90	6.52	+ 0.64	+ 0.62	「営業サポート情報」の効果的な活用によるビジネスマッチングや経営改善計画策定支援等に積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
北 都	17.49	17.62	24.67	+ 7.18	+ 7.05	フィデアグループのネットワーク等を活用したビジネスマッチングや経営改善計画策定支援に積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
宮崎太陽	0.98	1.11	1.34	+ 0.36	+ 0.23	外部機関との連携による創業・新事業支援や外部の専門家を活用した経営相談支援に積極的に取り組んだこと等から、計画を上回った。
ぐんまみらい (信用組合)	89.58	89.60	86.82	▲ 2.76	▲ 2.78	群馬県よろず支援拠点と連携した「経営相談会」を予定していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせたこと等から、計画の進捗に遅れが生じたため、計画を下回った。
豊 和	9.00	9.02	9.37	+ 0.37	+ 0.35	「Vサポート業務」を通じた売上改善等による経営改善支援や創業・新事業支援に積極的に取り組んだことから、計画を上回った。
東京厚生 (信用組合)	15.79	15.82	20.28	+ 4.49	+ 4.46	東京都の「地域金融機関による事業承継促進事業」に参画の上、各営業店が中小企業を往訪し、事業主に対する事業承継ヒアリングを多数実施したこと等から、計画を上回った。
横浜幸銀 (信用組合)	19.10	19.73	44.98	+ 25.88	+ 25.25	新型コロナウイルス感染症対応で積極的に経営相談に応じたほか、経営改善計画の策定や外部専門家と連携した経営改善への取組みを行ったこと等から計画を上回った。
釧 路 (信用組合)	4.26	4.33	4.50	+ 0.24	+ 0.17	経営改善支援先に対して、専門家派遣や既存の保証契約の適切な見直しを行うなど、事業承継支援や担保・保証に過度に依存しない融資等に積極的に取り組んだことから、計画を上回った。
滋賀県 (信用組合)	41.74	41.89	43.29	+ 1.55	+ 1.40	事業支援グループ・審査部・業務部・営業店間や外部支援機関との連携により取引先への提案・相談対応を強化したことなどから、計画を上回った。

(※)三十三銀行は、令和3年5月1日、三重銀行及び第三銀行の合併により設立しており、「計画始期の水準」は両行合算の数値

金融機能強化法(平成20年改正法)に基づく協同組織金融機能強化方針 令和3年9月期の実施状況の概要

1. 中小企業金融の円滑化の目標

1) 中小規模事業者等向け貸出の残高及び比率

(単位:億円、%)

	計画始期の水準	令和3年9月期	始期比	コメント (実績と計画の比較)	
		実績			
全国信用協同 組合連合会	残高	5,837	12,396	+ 6,559	特定信用組合(資本支援を行った13信用組合)において、既存先の資金ニーズの発掘、新規事業先の開拓、融資提案型営業の推進、成長分野への融資推進等、地域金融の円滑化に積極的に取り組んだことから、貸出残高・比率ともに計画始期を上回った。
	比率	34.89	48.38	+ 13.49	

※全国信用協同組合連合会の数値は、資本支援を行った13信用組合の合算値(但し、実績値は旧信用組合岡山商銀を合併した横浜幸銀信用組合の計数を含む。)

2) 経営改善支援先割合

(単位:%)

	計画始期の水準	令和3年9月期	始期比	コメント (実績と計画の比較)
		実績		
全国信用協同組合 連合会	9.76	19.77	+ 10.01	特定信用組合において、創業支援や新事業の開拓支援のほか、事業再生が必要となった取引先に対し、中小企業再生支援協議会等の外部機関と連携し事業再生支援等に取り組んだことから、計画始期を上回った。

※全国信用協同組合連合会の数値は、資本支援を行った13信用組合の合算値(但し、実績値は旧信用組合岡山商銀を合併した横浜幸銀信用組合の計数を含む。)

金融機能強化法の震災特例に基づき資本参加を行った金融機関における
「経営強化計画の履行状況（令和3年9月期）」の概要

金融機関名	資本参加	
	時 期	金 額
仙台銀行	平成23年 9月30日	300億円
筑波銀行		350億円
相双五城信用組合	平成24年 1月18日	160億円
いわき信用組合		200億円
宮古信用金庫	平成24年 2月20日	100億円
気仙沼信用金庫		150億円
石巻信用金庫		180億円
あぶくま信用金庫		200億円
那須信用組合	平成24年 3月30日	70億円
東北銀行	平成24年 9月28日	100億円
きらやか銀行	平成24年12月28日	300億円

（注）相双五城信用組合、いわき信用組合及び那須信用組合は全国信用協同組合連合会からの信託受益権の買取りにより、宮古信用金庫、気仙沼信用金庫、石巻信用金庫及びあぶくま信用金庫は信金中央金庫からの信託受益権の買取りにより、きらやか銀行は、じもとホールディングス（持株会社）が発行する優先株式の引受けにより、それぞれ資本参加。

金融機能強化法(震災特例)を活用した4地域銀行の経営強化計画

令和3年9月期の履行状況の概要

資本参加額 (資本参加時期)	仙台銀行 (宮城県仙台市)	じもとホールディングス きらやか銀行 (山形県山形市)	筑波銀行(茨城県土浦市)	東北銀行(岩手県盛岡市)
	300億円(平成23年9月)	300億円(平成24年12月)	350億円(平成23年9月)	100億円(平成24年9月)

被災地域における東日本大震災からの復興に資する方策の進捗状況(主なもの)

① 実施体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 「地元企業応援部」に復興融資担当者や事業再生担当者が常駐し、被災者の復興相談等にきめ細やかに対応 仙台地区の営業店を法人特化店舗とし仙山圏の仲介機能を拡充するとともに、本業支援推進態勢を強化 	<ul style="list-style-type: none"> 「コンサルティングサポート委員会」で決定した支援策に基づき、個社別に本部と営業店が一体となって協議を行う「コンサルティングサポート協議会」を開催し、債務者区分に関わらず経営課題を抱える地元中小企業に対して、本業支援の実践による取引先の持続的成長や地域の活性化に貢献していく態勢を構築 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域応援部」、「支店統括部」、「融資管理部」が各営業店と連携し、各種ソリューションの提供や経営改善支援等の本業支援のための本部サポートを強化 地域の事業者にきめ細かい支援を実施するため、各営業店の取り巻く環境を勘案した「店別営業戦略」に基づいた営業推進を実施 																																									
	<ul style="list-style-type: none"> グループ統一手ツールの活用による仙山圏でのビジネスマッチングの実施(令和3年度上期:成約実績9件)(仙台、さらやか) 復興支援に向けた共同イベント等の開催による被災者支援の継続(仙台、さらやか) 経営者の課題を解決するための「福利厚生の本業支援」や「経営管理の本業支援」として、サブスクリプション型サービスの「ふっくりハッケージ」に共に活きるクラブ」を提供(さらやか) クラウド型の経営支援プラットフォーム「Sendai Big Advance」のサービスを通じて、経営に役立つ様々なツールを提供することで、取引先の更なる事業拡大や効率化をサポート(仙台) 	<ul style="list-style-type: none"> ミドルリスク先の企業実態や成長可能性を適切に評価し、積極的な資金提供や経営改善・成長戦略への伴走型の支援を実施(令和3年度上期 目標:440億円、実績:442億円(+2億円)) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた地元中小企業に対し、返済負担を軽減するため、証書貸付の一本化などによる返済見直し「リファイナンスプラン」を積極的に実施(令和3年度上期 件数:553件、金額:159億円) 販路拡大支援も兼ねた福利厚生支援サービス「ハッピーエールサポート」を令和3年2月より開始(令和3年9月期 申込件数:2,144件 加入従業員数:27,076人) 震災以降、地域社会の持続的成長を支援している、「SDGs推進プロジェクト『あゆみ』」の取組みを推進(震災関連融資実績:令和3年度上期:3,852件) 	<ul style="list-style-type: none"> 震災復興推進本部活動報告書を作成し、復旧・復興資金の実行実績や被災地域の現状等、定期的なモニタリングを継続 財務改善や資金繰り改善を図るための短期継続融資への取組強化の一環として、平成30年9月よりプロパー短期継続融資「グローリング」の取扱いを開始(令和3年9月期111件/12.2億円) ローカルベンチマークを取り入れた事業性評価シートを活用 営業活動の中で把握した企業情報を行内イントラネットを活用し共有化することで、ビジネスマッチング等の支援を実施(令和3年9月期:登録117件) 																																									
② 具体的な取組み	<table border="1"> <tr> <td>被災者向け新規融資</td> <td>9,129先/3,271億円</td> <td>1,452件/425億円</td> <td>69,742件/9,138億円</td> <td>3,833件/946億円</td> </tr> <tr> <td>被災者向け条件変更</td> <td>4,596先/248億円</td> <td>150件/19億円</td> <td>13,927件/1,755億円</td> <td>660件/113億円</td> </tr> <tr> <td>【参考】R3/9期の貸出金残高</td> <td>248先/152億円</td> <td>643件/200億円</td> <td>3,649件/917億円</td> <td>1,093件/192億円</td> </tr> <tr> <td>産業復興機構の活用(注1)</td> <td>346先/41億円</td> <td>104件/18億円</td> <td>177件/17億円</td> <td>75件/9億円</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災事業者再生支援機構の活用(注1)</td> <td>8,471億円</td> <td>1兆43億円</td> <td>1兆8,504億円</td> <td>6,305億円</td> </tr> <tr> <td>個人版ガイドライン・自然災害ガイドラインの活用(注2)</td> <td>決定28先</td> <td>—</td> <td>決定12先</td> <td>決定57先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>決定68先</td> <td>決定7先</td> <td>決定27先</td> <td>決定55先</td> </tr> <tr> <td></td> <td>成立43件</td> <td>成立4件</td> <td>—</td> <td>成立18件</td> </tr> </table>	被災者向け新規融資	9,129先/3,271億円	1,452件/425億円	69,742件/9,138億円	3,833件/946億円	被災者向け条件変更	4,596先/248億円	150件/19億円	13,927件/1,755億円	660件/113億円	【参考】R3/9期の貸出金残高	248先/152億円	643件/200億円	3,649件/917億円	1,093件/192億円	産業復興機構の活用(注1)	346先/41億円	104件/18億円	177件/17億円	75件/9億円	東日本大震災事業者再生支援機構の活用(注1)	8,471億円	1兆43億円	1兆8,504億円	6,305億円	個人版ガイドライン・自然災害ガイドラインの活用(注2)	決定28先	—	決定12先	決定57先		決定68先	決定7先	決定27先	決定55先		成立43件	成立4件	—	成立18件			
	被災者向け新規融資	9,129先/3,271億円	1,452件/425億円	69,742件/9,138億円	3,833件/946億円																																							
被災者向け条件変更	4,596先/248億円	150件/19億円	13,927件/1,755億円	660件/113億円																																								
【参考】R3/9期の貸出金残高	248先/152億円	643件/200億円	3,649件/917億円	1,093件/192億円																																								
産業復興機構の活用(注1)	346先/41億円	104件/18億円	177件/17億円	75件/9億円																																								
東日本大震災事業者再生支援機構の活用(注1)	8,471億円	1兆43億円	1兆8,504億円	6,305億円																																								
個人版ガイドライン・自然災害ガイドラインの活用(注2)	決定28先	—	決定12先	決定57先																																								
	決定68先	決定7先	決定27先	決定55先																																								
	成立43件	成立4件	—	成立18件																																								

※ 計数は令和3年11月末時点

(注1) 「産業復興機構」及び「東日本大震災事業者再生支援機構」については、令和3年3月末をもって新たな支援申込の受付を終了している。

(注2) 「個人版ガイドライン」の適用は令和3年3月末をもって終了し、令和3年4月以降の東日本大震災の被災者への支援には、「自然災害ガイドライン」を適用。

金融機能強化法(震災特例)を活用した4信用金庫の経営強化計画 令和3年9月期の履行状況の概要

	宮古(岩手県宮古市)	気仙沼(宮城県気仙沼市)	石巻(宮城県石巻市)	あぶくま(福島県南相馬市)
資本参加額 (資本参加時期)	100億円(平成24年2月) 【国85億円、信金中金15億円】	150億円(平成24年2月) 【国130億円、信金中金20億円】	180億円(平成24年2月) 【国157億円、信金中金23億円】	200億円(平成24年2月) 【国175億円、信金中金25億円】

※ 国は、信金中央金庫(信金中金)から、4信用金庫が発行した優先出資に係る信託受益権を買い取る方式により資本参加

被災地域における東日本大震災からの復興に資する方策の進捗状況(主なもの)

① 実施体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度以降、物流の拠点化が期待され、経済環境が好調な釜石地区の重点開拓のため、大渡支店の増員と人材強化を行い、積極的な営業活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年9月、震災以降に盛支店内で営業を続けてきた大船渡支店を新築移転し、通常営業を開始したことで、被災した全ての店舗の再建が完了 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な顧客ニーズへの対応のために、法人営業部と新分野推進室を統合して「総合相談センター」に改組し、若手職員へのOJT指導、外部講師を招いた実務研修等を行い、人材育成を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月、円滑な災害支援活動のために、災害発生時には本部・営業店を一時避難場所として提供することなどを内容とする「災害時における支援協力に関する協定」を南相馬市と締結
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月、商工会議所主催の「創業スクールの講師として、金融機関との取引方法や具体的な支援事例を紹介するなど、事業者の創業活動を支援 より実践的なコンサルティングスキルの修得のために、各営業店において若手職員を対象としたロールプレイング研修を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 中小・零細事業者が抱える経営課題を伴走支援する公的支援機関「気仙沼ビジネス」の運営に参画し、PRパンフレットの作成協力や金庫取引先への活用促進を実施 他金庫と連携し、専門コンサルタントを招いた食品取扱事業者向けの「販路開拓オンライン相談会」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月、「いしのまきSDGsパートナー」制度に登録し、経営者向けセミナーの開催やフードバンク、カーシェアリング活動の支援を実施 環境保全型植物工場、カフェ及び直売所を新設し、規格外野菜の利用や6次産業化を推進する事業者に対し、他金融機関と連携した金融支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年7月、中小企業へのソリューション提供を強化するため、福島県内全8金庫と商工組合中央金庫で「事業再生・経営改善支援に関する業務協力契約」を締結 南相馬市が掲げる事業の一環として、ロボット関連ベンチャー企業への支援強化を目的とした地域産業活性化に関する連携協定を同市と締結
② 具体的な取組み	<p>事業性 消費性</p> <p>被災者向け新規融資</p> <p>被災者向け条件変更</p> <p>【参考】 R3/9期の貸出金残高</p>	<p>3, 181先／644億円</p> <p>780先／ 61億円</p> <p>128先／ 62億円</p> <p>296先／ 11億円</p> <p>487億円</p>	<p>1, 037先／507億円</p> <p>1, 089先／156億円</p> <p>239先／105億円</p> <p>108先／ 13億円</p> <p>786億円</p>	<p>2, 228先／852億円</p> <p>619先／ 85億円</p> <p>560先／326億円</p> <p>497先／ 42億円</p> <p>939億円</p>
	<p>産業復興機構の活用(注1)</p> <p>東日本大震災事業者再生支援機構の活用(注1)</p> <p>個人版ガイドライン・自然災害ガイドラインの活用(注2)</p>	<p>決定29件</p> <p>決定27件</p> <p>成立26件</p>	<p>決定36件</p> <p>決定57件</p> <p>成立39件</p>	<p>決定 5件</p> <p>決定 5件</p> <p>成立 2件</p>

※ 計数は令和3年11月末時点

(注1) 「産業復興機構」及び「東日本大震災事業者再生支援機構」については、令和3年3月末をもって新たな支援申込の受付を終了している。

(注2) 「個人版ガイドライン」の適用は令和3年3月末をもって終了し、令和3年4月以降の東日本大震災の被災者への支援には、「自然災害ガイドライン」を適用。

金融機能強化法(震災特例)を活用した3信用組合の経営強化計画 令和3年9月期の履行状況の概要

相双五城(福島県相馬市)	いわき(福島県いわき市)	那須(栃木県那須塩原市)
資本参加額 (資本参加時期)	200億円(平成24年1月) 【国175億円、全信組連25億円】	70億円(平成24年3月) 【国54億円、全信組連16億円】
160億円(平成24年1月) 【国139億円、全信組連21億円】		

※ 国は、全国信用協同組合連合会(全信組連)から、3信用組合が発行した優先出資に係る信託受益権を買い取る方式により資本参加

被災地域における東日本大震災からの復興に資する方策の進捗状況(主なもの)

① 実施体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症や福島沖地震等の自然災害の影響を受けた事業者からの相談に対応するため、個別訪問活動を強化するとともに、各口一センターにおける夜間融資相談会を開催 包括的連携協定書を締結する8市町へ地方振興寄附金を贈呈するとともに、当組合の主催イベントにて、営業エリア内の宿泊・飲食業者等の利用券等を景品として提供 地域のニーズの変化に対応し、飲食業からフィットネスジム事業への転換を検討する事業者に対し、事業再構築補助金の活用を提案し、申請手続きを支援 	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業診断士等の外部専門家による事業者の経営課題解決に向けた相談窓口を常設し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者からの相談についても積極的に対応 経営者の高齢化に伴って拡大する、多様な事業承継に関する支援ニーズに対応するため、日本政策金融公庫やM&A仲介プラットフォーム、人材紹介会社等をはじめとする外部機関との連携を強化 中小企業診断士等が事業計画策定から融資後のフォローアップまでトータルサポートする商品を提供することで、事業者の創業・新事業開拓を引き続き支援 	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の金融支援に取り組むため、引き続き全営業店に各種相談窓口を設置し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者からの相談にも常時対応 令和3年10月、地域事業者の販路拡大、広告宣伝、テストマーケティング等を支援するクラウドファンディング「MOTTAINAIみらい」を活用した、取引先事業者の応援策「しんくみ新型コロナウイルス対応事業者応援プロジェクト」に参加し、3件のプロジェクトを登録 令和3年7月、「株式会社サクシード」と業務提携し、事業承継問題を抱える中小規模事業者に対する事業承継支援サービスの提供を開始
② 具体的な取組み			
被災者向け新規融資	650先/215億円 310先/45億円	177先/392億円 68先/11億円	4,459件(460先)/505億円 152件(86先)/4億円
被災者向け条件変更	729件/197億円 228件/20億円	211先/230億円 68先/8億円	4,129件/453億円 210件/29億円
【参考】R3/9期の貸出金残高	414億円	1,188億円	449億円
産業復興機構の活用(注1)	決定5件	決定4先	—
東日本大震災事業者再生支援機構の活用(注1)	決定3先	決定9先	決定3先
個人版ガイドライン・自然災害ガイドラインの活用(注2)	成立2件	成立3件	—

※ 計数は令和3年11月末時点

(注1) 「産業復興機構」及び「東日本大震災事業者再生支援機構」については、令和3年3月末をもって新たな支援申込の受付を終了している。
(注2) 「個人版ガイドライン」の適用は令和3年3月末をもって終了し、令和3年4月以降の東日本大震災の被災者への支援には、「自然災害ガイドライン」を適用。